単元名 水遊び「水に慣れる遊び、浮く・もぐる遊び」

1 運動の特性

- (1)一般的特性
 - ○水中を動き回ったり、水中で目を開けたり、息を吐いたり、水に浮いたりして楽しく遊ぶことができる運動である。
- (2) 児童から見た特性
 - ○水の中で体を動かしたり、ぷかぷか浮いたりすることが楽しい運動である。

2 単元の目標

- (1) 関心・意欲・態度
 - ○友達と仲良く協力したり競争したりして、楽しく水遊びをすることができる。
 - ○プールにおける学習の約束を守り、安全に気を付けて水遊びをすることができる。
- (2) 思考·判断
 - ○浮く・もぐる遊びの遊び方を工夫することができる。
 - ○いろいろな姿勢での浮き方や水面上での呼吸の仕方がわかる。
- (3) 運動の技能
 - ○水の中での感覚を味わい、水中で自由にもぐったり、浮いたり、呼吸をしたりして遊ぶことができる。

3 評価規準

観点	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 運動の技能
学習活動における	②順番を守ったり、きまりや約 束を守ったりして、仲良く安 全に水遊びをしようとする。	知っている。 ②自分の力に合った遊び方を選 んでいる。 ③いろいろな遊び方を工夫して いる。	りすることができる。 ②水に顔をつけて, 息を吐くこ とができる。

4 指導計画と評価

	1 • 2	3 · 4	5 · 6	7 · 8	9 • 10
	〈オリエンテーション〉 ○学習の進め方を知	用具準備,健康観察 <水に慣れる遊び		ー,バディの確認,	学習内容の確認
_	る つプール使用の約束 を知る	○プールサイドつ	○電車ごっこ,ま ねっこ遊び		
	○水かけっこ, つか まり歩行		○バブリング, ボ	○伏し浮き	○水遊び大会
	人員確認,何	建康観察,整理運動,	用具の始末,学習の)まとめ,シャワー,	洗眼
評価	ア② イ①	ア① イ④ ウ③	ア① イ② ウ②	ア① ウ①④	イ③ ウ①②

5 指導の工夫

- (1) 学習過程の工夫
 - ○1年生の段階では、小学校に入学するまでの水中での体験に個人差があり、水に対する恐怖心を持っている児童もいる。そこで、1年生では水に慣れる遊びを十分に行わせ、単元が進むにつれて、徐々に浮く・もぐる遊びの割合を増やしていくよう構成した。
- (2) 場の工夫
 - ○水に対する恐怖心を持っている児童もいるので、水の深さ・気温・水温には十分配慮する。
- (3) 用具の工夫 <展開部分参照>

水に慣れる遊び、浮く・もぐる遊び 1 単元名

No.25 • 26

2 目標

- ・プール使用の約束を知り、学習の見通しを持つことができる。 ・水かけっこ、プールサイドつかまり歩行で元気よく遊ぶことができる。 $(1 \cdot 2/10)$

時配	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	<55分展開>		
	プール使用の約束を知り、プー	ールへの入り方を練習すること	
5分	1 本時のねらいを確認する。		
	プール使用の約束を知り	,学習の見通しを持とう	
20	2 入水前の準備をする。	○おしゃべりをしないで素早く着替えさ	プールカード
	○衣服の脱衣 ○持ち物の確認をする。	せる。 ○脱いだものはきちんと整とんするよう	学習カード
	・プールカード ・学習カード	に指示する。 ○水泳帽子の中に髪を入れさせる。	
	・タオル 等	○名前が書いてあるか確認させる。 ○持ち物の確認をさせる。	
		・プールカード,学習カード,タオル等	
	○プールへ移動する。	○きちんと整とんしてから並んで移動させる。	
		○タオルの置き場所を示し、整とんさせておく。	
	○準備運動をする。	○準備運動の必要性を話し、約束を守っ	ラジカセ
	・ラジオ体操や自校体操をする。 ○プールサイド調べをする。	てしっかり行わせる。	体操用音楽
	- しノールサイト調へをする。 - ・プールサイドを静かに歩き,周囲	○プールサイドは絶対に走らないことを 約束し、滑りやすいところを確認する。	CD
	の施設を知る。		
	○シャワーを浴びる。	○顔,胸,背中,肩などしっかりかけさせる。	
15	3 プールに入る。		
	○プールサイドに腰かけて、足で水を	・プールサイドは走らない。	
	ける。	・飛び込まない。	
	○体に水をかける。○後ろ向きになって一人ずつゆっくり	・体に水をかける。・足先からゆっくり入る。	
	階段から入る練習をする。	・水中でふざけない。	
	○プールサイドから入る練習をする。	624 1 -0.45	
	-09-99		
		 ◇プールの約束を守って,水遊びをしよ	
		うとする。	
		○楽しい雰囲気で児童たちに期待を抱か	
15	4 学習の見通しを持つ。 ○プールサイドでどんな水遊びをする	せるようにする。 ○いくつかの遊びを実際に行い、雰囲気	
	のか見通しを持つ。	を味わわせ動機付けをする。	
	・動物のまねっこ遊び		
	・電車ごっこなど		
	○バディーを決める。	○水慣れの様子からバディーを決める。	
		○児童の顔色・唇の色等で健康状態を把握し、プールサイドで休息をとらせる。	

時配	学習内容と活動 <35分展開>	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	水かけっこやプールサイドつかる	まり歩行をして,水に慣れること	
5分	1 本時のねらいを確認する。		
	水かけっこやプールサイドつかる	まり歩行をして、元気よく遊ぼう	
20	2 水かけっこをする。 ○プールサイドに腰かけ、脚、胸、頭に水をかける。 ○隣の友達に水をかける。	○プールサイドに腰かけ、自分の体に水をかけさせる。○左右の友達に水をかけさせる。	
	3 プールサイドつかまり歩行をする。 〇つかまり歩行をする。 ・両手でプールサイドにつかまり, 歩く。 ・片手でプールサイドにつかまり, 歩く。 ・向きを変えて反対 の手でプールサイドにつかまって歩 く。	○水中での歩き方について話し、指導する。 ・後ろ向きになってプールに入る。 ・隣の人と間隔をとって静かにつかまり歩く。 ・肩の力を抜き、足の裏でしっかりけって歩く。 ・両手でプールサイドにつかまり歩く。 ○水に慣れていない児童には、両手で支え安心感を与えゆっくり行わせる。 ○水に慣れている児童は、友達を励ますようにさせる。 ○慣れたら片手でつかまり歩く。	
-	 ○全員でいろいろなつかまり歩行を行う。(先生の指示した方向に歩く) ・両手でつかまり歩く。(みんなで一斉に) ・片手はプールサイドにつかまり、他方は前の人の肩につかまって歩く。 ・プールサイドから手を離し、みんなで手をつないで歩く。 	 ○全員がプールに入り行う。 ・「カニさん歩き」「電車歩き」など名前を付けて楽しい雰囲気で行う。 ・音楽をかけ、楽しい雰囲気の中で行わせる。 ・4~6人のグループで行う。 ・リズムに合わせて歩く。 ・笛の合図で向きを変えられるようにする。 ・慣れてきたら後ろ向きに歩いたり膝を高く上げたり、早歩きをしたりする。 ・少しずつ深いほうへ行くようにする。 ◇水かけっこや、つかまり歩行ができる。 	ラジカセ 音楽CD
10	4 本時のまとめをする。 ○人員の確認をする。 ○健康観察,整理運動をする。 ○学習のまとめをする。 ○シャワーを浴び,洗眼をする。 ○教室で着替えをして水着を片付ける。	○学習カードで自己評価させる。○シャワーをしっかり浴びるよう声をかける。○ぬれたタオルや水着の始末の約束の確認をする。	学習カード

水に慣れる遊び、浮く・もぐる遊び 1 単元名

No.27 • 28

2 目標

- ・教師の示した水遊び(電車ごっこ)で元気よく遊ぶことができる。・水中ジャンケンやにらめっこをして楽しく遊ぶことができる。(3・4/10)

時配	3 展 開 (3・4/10) 学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	<55分展開> 衣服の脱衣・持ち物の確認		
	電車ごっこをして水に慣れなれ	がら, 友達と元気よく遊ぶこと	
20分	 1 入水の準備をする。 ○用具の準備をする。 ○健康観察・準備運動・シャワー・人員点呼 ○前時に経験した水遊びをする。 ・水かけっこ ・プールサイドつかまり歩行 	○水慣れの程度が同じ位の等質グループを編成する。○後ろ向きになってゆっくりプールに入る。○前時に学習した遊び方を安全に気を付けて行わせる。	プールカー ド 学習カード ラジカセ 体操用音楽 C D
	2 本時のねらいを確認する。		
	電車ごっこをして	て元気よく遊ぼう	
30	3 電車ごっこをする。○自由な方向に進む。	○電車ごっこの指導をする。・4~5人のグループで行う。・水に慣れている児童を先頭にさせる。・両手を前の人の肩に乗せて行う。	ラジカセ 音楽CD
	○いろいろな電車になる。・足を高く上げた電車・各駅停車・特急電車	 ・手を開め入め肩に来せて行う。 ・手を肩から離さないように気を付けさせる。 ・先頭の児童が電車の名前を決めるように助言する。 ○電車の種類(遊び方)を指導する。 	
		 ・各駅停車:胸ぐらいまで沈みゆっくり歩く。 ・特急電車:おへそまでつかって友達と離れないように速く走る。 ・山下り電車:膝を曲げてだんだん低くなる。 ・山登り電車:膝を伸ばしだんだん高く 	
	○トンネルをつくり、電車ごっこをする。 <i>○</i> の	なる。 〇トンネルになるグループと電車になる グループを決めておき,交代するよう にさせる。	
		○高いトンネル、低いトンネルのくぐり 方を工夫させる。・くぐり抜ける速さ・くぐる時の姿勢・呼吸(息を止めて・息を吐きながら)	
5	○学習カードにより自己評価する。	◇電車ごっこに進んで取り組もうとする。	学習カード
		○児童の顔色・唇の色等で健康状態を把握し,プールサイドで休息をとらせる。	

時配	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	<35分展開>	カルス かっち か 口 も 即 込む か み ファ し	
	及達と仲良く水遊いをしなから、水口	中にもぐったり目を開けたりすること	
5分	1 ねらいを確認する。		
	水中ジャンケンやにら	めっこで楽しく遊ぼう	
20	 2 水中ジャンケンや水中にらめっこをする。 ○水中ジャンケンをする。 ・二人組の水中ジャンケンをする。 ・全員でジャンケンゲームをする。 ・ペアで水中にらめっこをする。 	○水中ジャンの指導をする。 ・工人組での水中ジャンをさる。 ・手をつないで同時に水中にもなる。 ・手をせる。 ・大さる。 ・大さる。 ・大さる。 ・水中の水の間がかられないのでにかられないのででである。 ・大さる。 ・水中のがいたがいたがられないのででがいない。 ・水中もよかないのででがいたがかがからのでででである。 ・水中もよかない。 ・カーもながれる。 ・カーををでががかからのでででである。 ・カーをでががかからのでででである。 ・カーをでががからいたががからのでででででででででででででである。 ・カーにがいたががからいた。 ・カーにがいたががからいた。 ・カーにがいる。 ・カーにがいる。 ・カーにがいる。 ・大きく息を吸ってかられている。 ・大きくしまないる。 ・大きくないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさる。 ・大きないるとさるといるといる。 ・大きないるといるといるといるといる。 ・大きないるといるといるといるといるといる。 ・大きないるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい	ラジカセ 音楽CD
10	 グループで水中にらめっこをして遊ぶ。 本時のまとめをする。 人員の確認をする。 健康観察,整理運動をする。 学習のまとめをする。 	 ・大きく息を吸ってからもぐるようにさせる。 ・相手の顔をよく見るように助言する。 ・水中で目が開けられない児童は、細目でもよいことを知らせる。 ・顔をふかないように努力させる。 ・もぐれない児童には、顔を水につけて行わせる。 ◇水中でのジャンケンやにらめっこができる。 ○学習カードで自己評価させる。 ○シャワーをしっかり浴びるよう声をかける。 	学習カード

 $No.29 \cdot 30$

1 単元名 水に慣れる遊び、浮く・もぐる遊び

2 目標

- ・教師の示した水遊び(動物のまねっこ遊び)で元気よく遊ぶことができる。・いくつかの水中遊びやバブリング・ボビングをして楽しく遊ぶことがで きる。 (5・6/10)

時配	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具·資料
	<50分展開> 衣服の脱衣・持ち物の確認 動物のまねをしながら、水中でブタ		
20分	 1 入水の準備をする。 ○用具の準備をする。 ○健康観察・準備運動・シャワー・人員点呼 ○前時に経験した水遊びをする。 ・水中電車ごっこで元気よく遊ぶ。 ・水中ジャンケンやにらめっこをして楽しむ。 	○水慣れの程度が同じ位の等質グループを編成する。○後ろ向きにゆっくりプールに入るようにさせる。○教師の示した電車ごっこの遊び方で元気よく遊ばせる。	プールカー ド 学習カード ラジカセ 音楽CD
	2 本時のねらいを確認する。		
	動物のまねっこ遊び	びで元気よく遊ぼう	
25	3 動物のまねっこ遊びをする。	 ●動物のまねっこ遊びの指導をする。 ○楽しい雰囲気の中で遊べるようBGMを活用する。 ○うさぎ歩き(跳び)では、最初はピョンピョンとリズミカルに跳ねるようにさせる。 ・慣れてきたら、大きく弾むように跳ねるようにさせる。 ・水たもぐったときに、口や鼻からブクと息を吐くようにさせる。 ○カニ歩きでは、段階を追って深く水につかるように歩かせる。 (肩まで→つかれないせる。・頭まで水につかれないままき方で歩れまかせる。・ブクブクと息を吐きながら歩くようにさせる。 	ラジカセ 音楽CD
	○自分たちで考えた動物のまねっこ遊びをする。		
5	○学習カードにより自己評価する。	◇動物のまねっこ遊びに進んで取り組もうとする。○児童の顔色・唇の色等で健康状態を把握し、プールサイドで休息をとらせる。	学習カード

時配	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	<40分展開>		
	水にもぐって息を吐いたり、顔	を上げて呼吸をしたりすること	
5分	1 ねらいを確認する。		
	水中ジャンケンやブクブク	・パアをして、楽しく遊ぼう	
10	2 今までに学習した水中ジャンケンやにらめっこをする。○水中ジャンケンやにらめっこをして遊ぶ。	仕方を確認しながら, それぞれ行わせ	ラジカセ 音楽CD
15	3 「ブクブク・パア」をして遊ぶ。 ○プールサイドにつかまり「ブクブク ・パア」を行う。	○「ブクブク・パア」の指導をする。・プールサイドにつかまり、水中にまっすぐ沈ませる。・水中で口や鼻から息を「ブクブク」と	
		出し、口が十分水面から出てから「パア」と息をする。 ○慣れてきたら、連続して行うようにさせる。 ・連続-5回、10回、15回	
	○二人組で「ブクブク・パア」を行う。	○「ブクブク・パア」遊びの指導をする。 ・手をつないで水中にもぐり、口や鼻から息をブクブクと出し、口が十分水面から出てから「パア」と息をする。 ・声を出しながら行わせる。 ・友達が口や鼻から息を出しているのを確かめ合わせる。	
	〇グループで「ブクブク・パア」を行う。	・4~5人のグループで手をつないで輪になり、「ブクブク・パア」を行う。 ◇水中でのジャンケンやにらめっこ、「ブクブク・パア」をすることができる	
10	4 本時のまとめをする。 ○人員の確認をする。 ○健康観察,整理運動をする。 ○学習のまとめをする。 ○シャワーを浴び,洗眼をする。 ○着替えをして水着を片付ける。	○学習カードで自己評価させる。○シャワーをしっかり浴びるよう声をかける。	学習カード

水に慣れる遊び、浮く・もぐる遊び 1 単元名

No.31 • 32

2 目標

- ・教師の示した水遊び(リレー遊び等)で元気よく遊ぶことができる。 ・壁や補助具を使って、伏し浮きをすることができる。 $(7 \cdot 8 / 10)$

時配	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	<45分展開> 衣服の脱衣・持ち物の確認	・プールへの移動等は休み時間に行う。	
	水中で動き回ったり、も	ぐったりして楽しむこと	
20分	 1 入水の準備をする。 ○用具の準備をする。 ○健康観察・準備運動・シャワー・人員点呼 ○前時に経験した水遊びをする。 ・動物のまねっこ遊びなどで元気よく遊ぶ。 ・水中ジャンケンやにらめっこをして遊ぶ。 2 本時のねらいを確認する。 	○前時の人と同じ友達と組むようにさせる。○後ろ向きにゆっくりプールに入るようにさせる。○教師の示した動物や自分で考えた動物になりきって元気よく遊ばせる。○遊びの約束を確認してから行わせる。	プールカー ド 学習カード ラジカセ 体操用音楽 C D
	リレー遊びや石拾いを	して、元気よく遊ぼう	
20	 3 リレー遊びや石拾いをする。 ○折り返しリレーやボール押し競争ををする。(プールを横に使って) 折り返しリレーでは ・手を使ってぐいぐいと前に進み、プールの反対側で待っている友達にしっかりタッチをしてリレーを 	○リレー遊びの指導をする。〈折り返しリレー>・1チーム8名程度の人数とし、折り返しリレーを行わせる。・手も使ってしっかり前に進むようにさせる。<ボール押し競争>	ラジカセ 音楽CD
	する。 ボール押し競争では ・水中でバランスをとって、額でボ ールを押しながら前へ進む。 <折り返しリレー>	・額の中央でボールを真っ直ぐ押すよう にさせる。 <ボール押し競争>	ドッジボール
	○水中石拾いをする。	○石拾いの仕方を確認する。・リレーチームで石拾いを競わせる。・水中で石を拾っているか確認する。	石拾い用石 かご
		○児童の顔色・唇の色等で健康状態を把握し,プールサイドで休息をとらせる。	
5	○学習カードにより自己評価する。	◇リレー遊びや石拾いに進んで取り組も うとする。	学習カード

時配	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	<45分展開>		
	壁や補助具につかまって水り	こ浮く感覚を身に付けること	
5分	1 ねらいを確認する。		
	壁やビート板などにつかま	って、水に浮いて楽しもう	
30	2 壁につかまったり、補助具につかまったりして、伏し浮きをする。○プールサイドにつかまって水に浮いて楽しむ。	○全身の力を抜いて浮く感覚を身に付けさせる。・背中が出るまで力を抜いて行わせる。・力が入ってしまう児童には、教師が腰の部分を支えるように補助を行う。・ヘルパーを腰に付けるなど、補助具を活用してもよい。	ヘルパー
	○ビート板につかまって水に浮いて楽しむ。・慣れてきたら、ビート板を引いてもらって移動して楽しむ。	・全身の力を抜くことを助言する。・ビート板を持つ友達にはしっかり支えて持つように助言する。・ヘルパーを腰に付けるなどの工夫をしてもよい。	ビート板
	○友達の両手につかまって水に浮いて楽しむ。・水に浮いたら、友達に動いてもらって移動して楽しむ。	・手をつかむ友達には、ゆっくり動くよう指示する。・ヘルパーを腰に付けるなどの工夫をしてもよい。	ヘルパー
	<進んだ段階> ○一人で水に浮いて楽しむ。 ・浮いてから自力で立つ方法を知り 浮いたり立ったりして楽しむ。	 ○進んだ段階として、一人で水に浮いて遊ぶことを指導してもよい。 ・腕や足を引いて立つ立ち方のポイント①顔を水につけたまま②手を後方にかき、同時に腰・膝を前方に持ってくる。 ③両足を曲げて胸に引き寄せる。 ④頭部を起こす。 ⑤足を静かに伸ばして立つ。 ◇いろいろな伏し浮きを楽しもうとする。 	
10	3 本時のまとめをする。○人員の確認をする。○健康観察,整理運動をする。○学習のまとめをする。○シャワーを浴び,洗眼をする。○着替えをして水着を片付ける。	○学習カードで自己評価させる。○シャワーをしっかり浴びるよう声をかける。	学習カード

水に慣れる遊び、浮く・もぐる遊び 1 単元名

No.33 • 34

2 目標

- ・教師の示した水遊び(リレー遊び等)で元気よく遊ぶことができる。・水遊び大会を行い、学習のまとめをする。

 $(9 \cdot 10/10)$ 3 展 開

時配	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	<40分展開> 衣服の脱衣・持ち物の確認	・プールへの移動等は休み時間に行う。	
	水中で動き回ったり、バブリング	・ボビングをしたりして楽しむこと	
15分	1 入水の準備をする。○用具の準備をする。○健康観察・準備運動・シャワー・人員点呼		プールカー ド 学習カード ラジカセ 体操用音楽
	2 本時のねらいを確認する。		在 CD
	リレー遊び(競争)や「ブクブク	ウ・パア」遊びで元気よく遊ぼう	
20	 3 リレー遊び(競争)や「ブクブク・パア」遊びを行う。 ①折り返しリレーをする。(プールを横に使って)・手を使ってぐいぐいと前に進み、プールの反対側で待っている友達にしっかりタッチをしてリレーをする。 	-	
	○「ブクブク・パア」遊びを行う。 ・一人で「ブクブク・パア」をする。	○一人で「ブクブク・パア」を行わせる。 ・「パア」と息を吐くときに、大きくジャンプさせる。 ・連続5回、10回、15回といったように個人にめあてを持たせて行わせる。	
	・グループで「ブクブク・パア」をする。	○グループで以前に行った「ブクブク・パア」遊びを行わせる。・みんなで手をつないで大きくジャンプさせたり、連続回数のめあてを持たせたりして行わせる。	
		○児童の顔色・唇の色等で健康状態を把握し,プールサイドで休息をとらせる。	
5	○学習カードにより自己評価する。	◇リレー遊びや「ブクブク・パア」に進んで取り組もうとする。	学習カード

時配	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(◇)	用具・資料
	<50分展開>		
	水中で動き回ったり、もぐっ	たり 水に浮いたりすること	
		707, Melit 107, 200	
5分	1 本時のねらいを確認する。		
	水遊び大会を行い、質	学習のまとめをしよう	
35	2 今までに行ってきた水遊びの中からいくつか選んで、水遊び大会を行う。 (例) ○チーム対抗の水かけっこで楽しむ。 ○電車ごっこジャンケンゲームで楽しむ。 ・電車ごっこをグループで行いながら先現の子がジャンケンをして、負けたら相手の電車の後ろにつく。 ○水中ジャンケン大会をする。・グループ対抗で勝ち抜き戦を行う。・2人組で鬼ごっこを行う。・2人組で鬼ごっこを行う。・グループ内で鬼ごっこを行う。	 ○自分たちで水遊び大会で行いたい遊びを選ぶように助言する。 ・1年生で学習した内容を考慮して種目を選定するとよい。 ○水遊び大会の進め方を説明する。 ・4~6人くらいでグループを作って,グループ対抗にする。 ○選んだ水遊びのルールを確認してから行わせるようにする。 ○楽しい雰囲気の中で水遊びできるようにBGMを活用する。 <水かけっこ> 	ラジカセ 音楽CD
	<電車ごっこ> <ジャン	ノケン鬼ごっこ>	
	<水中ジャンケン> <引っ引	長りっこ>	
		◇水遊び大会に、友達と仲良く力いっぱ	
	 3 水遊びの学習をのまとめを行う。 ○各自の学習カードを見て学習の反省をする。 ○来年度の目標や抱負を話し合う。 ○水遊び学習でのみんなのがんばりや進歩の著しい児童を認め合う。 	い取り組もうとする。 ○今年の学習を振り返らせ、楽しかった こと、できるようになったこと、がん ばりたいことなどを話し合わせ、来年 度に希望が抱けるようにする。	学習カード
10	4 本時のまとめをする。	○シャワーをしっかり浴びるよう声をかける。	

6 補助資料

<教師の言葉かけの例>

○水かけっこ

- ・友達にそっとかけてみよう。 ・平気な人は元気よくかけよう。 ・できるだけ顔についた水は ふかないようにしよう。
- ○電車ごっこ
 - ・滑らないように気を付けよう。・顔を水につけてトンネルをくぐろう。・くぐったあと、顔を ふかずにがまんしよう。
- ○水中ジャンケン, にらめっこ
 - ・水の中で目を開けてジャンケンしよう。目が開けられない人は、細目でもいいよ。
- ○カニ歩き
 - ・口ガニ、鼻ガニになってみよう。 ・口からあわをいっぱい出しながら歩こう。
- ○ブクブク・パア
 - ・水にもぐって、口と鼻からゆっくり息を吐こう。顔を上げたときに、パッと大きな声を出そう。

<学習カードの例>

みずあそびがくしゅうカード

くみ なまえ

ひ みずあそびのやくそくがまもれたらシールをはりましょう。



うまょうあそんだみずあそびにシールをはりましょう。



たのしかったことをかきましょう。